

多文化社会ブラジルにおける 日系コミュニティの実態調査

—日系団体の活動状況フィールド調査からその意義と役割を探る—

報告者：細川多美子氏

同時開催 サンパウロ人文科学研究所日本支部 短期派遣研究生報告会
題目：コロニア芸能史概観 ～日本的芸能が意味するもの～
報告者：関屋弥生氏

日時：2019年11月23日（土）
13:30開場 14:00開会

場所：早稲田大学 早稲田キャンパス
11号館701教室

※報告前に外務省広報動画の上映があります。
※報告順は①関屋氏②細川氏となります。（詳細裏面参照）

プログラム

13:30

開場

14:00～14:10

主催者挨拶

14:10～14:30

外務省動画上映

(NIKKEY HISTORY : Bridging
Japan and Latin America)

紹介：森本豊富氏

(早稲田大学教授)

14:30～15:45

関屋弥生氏報告

15:45～16:00

休憩

16:00～17:30

細川多美子氏報告

報告者プロフィール

細川多美子氏

サンパウロ人文科学研究所常任理事。上智大学外国語学部ポルトガル語学科卒業後、OLを経てブラジルパラナ連邦大学留学。その後もブラジル文化への興味と日系社会の存在を理由にサンパウロに居住、日本語情報誌編集、フリーライター、テレビ・雑誌取材・イベント等のコーディネーターなどジャーナリズムに携わり、現在はサンパウロ人文科学研究所常任理事として「日系社会実態調査」を展開中。

関屋弥生氏

大阪大学文学研究科博士後期課程。日本学術振興会特別研究員。専門は日本の古典芸能。現在は、ブラジル日系社会における古典芸能の活動について調査研究を行っている。主な業績は「伝統芸能と共同体意識—日系ブラジル移民が伝えた能楽の活動を中心に—」『演劇学論叢』（2019）など。

早稲田大学 早稲田キャンパス地図
(東京都新宿区西早稲田1丁目6-1)

